

同種施設比較分析表

同種施設比較分析表

町田市が運営している“施設”の中でも「市民センター」「図書館」といった同種の施設に着目して、新公会計制度で明らかになった情報を有効活用するため、同種施設比較分析表を作成いたしました。

同種施設の所管課は、この比較分析表を分析ツールとして、同種施設を相互に比較・分析しました。

当会計年度から、財務情報と非財務情報を交えた施設相互の分析を推進することを目的として、効率性を表す指標と経済性を表す指標の2軸を基準とした分析グラフを追加しました。また、事業マネジメントの強化を目的として、従来の「分析欄」に加えて「施設マネジメント改善のための今後の取り組み欄」を追加しました。

この分析で明らかになった知見を活用して、成果の拡大や運営コストの削減を図っていきます。各施設のより詳しい内容は、該当の課別・事業別行政評価シートをご覧ください。

- 同種施設の相互比較にあたっては、行政費用を調整している場合があります。このため、同種施設比較分析表における行政費用・単位あたりコスト分析と、該当の課別・事業別行政評価シートにおける行政費用・単位あたりコスト分析では、金額が異なる場合があります。

<例>

忠生市民センターと忠生図書館は複合施設ですが、貸借対照表における建物(事業用資産)は、忠生市民センター費に計上されています。このため、建物の減価償却費は忠生市民センター費の行政コスト計算書にのみ計上され、忠生図書館事業の行政コスト計算書には計上されていません。

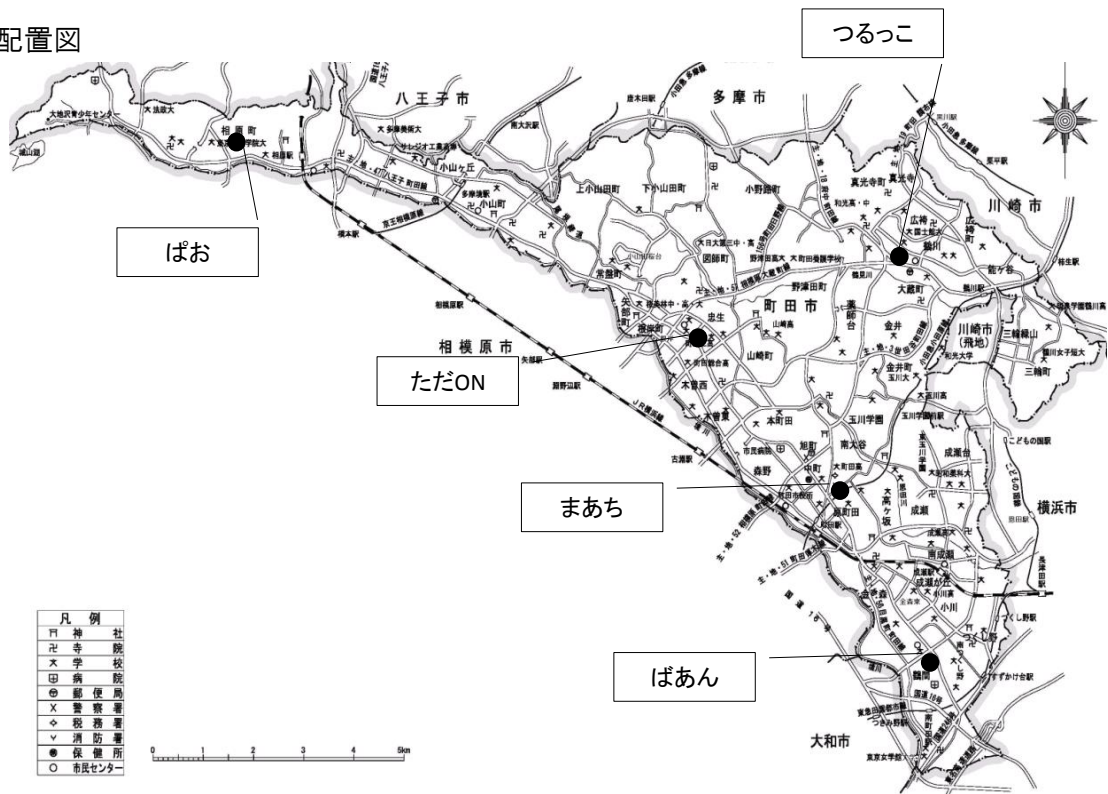
「図書館」という同種施設を比較分析するにあたっては、忠生図書館の建物に係る減価償却費を面積按分により算定し、加算しています。

同種施設比較分析表(子どもセンター)

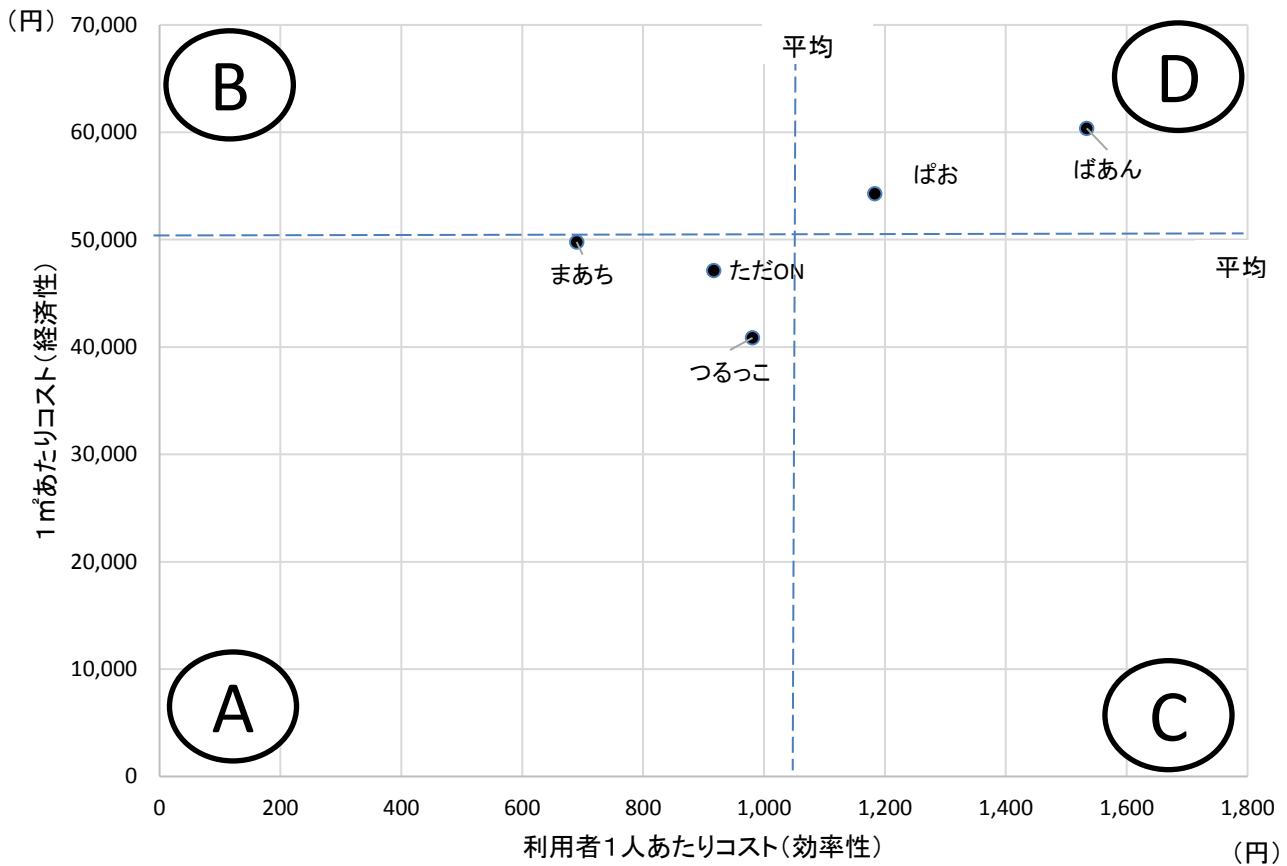
1 各施設の情報

| | ばあん | つるっこ | ばお | ただON | まあち | |
|------------|---------------------------|------------|-----------|------------|------------|------------|
| 基本情報 | 該当ページ | 54 | 56 | 58 | 62 | 64 |
| | 建設年月日 | 1999年3月24日 | 2005年2月1日 | 2009年3月27日 | 2014年1月26日 | 2016年4月30日 |
| | 有形固定資産減価償却率 | 42.9% | 31.1% | 21.3% | 17.6% | 6.4% |
| 行政費用(千円) | 人件費 | 39,728 | 37,899 | 36,108 | 42,519 | 51,837 |
| | 物件費 | 11,585 | 14,234 | 13,469 | 10,310 | 14,747 |
| | うち委託料 | 6,314 | 8,921 | 6,007 | 5,770 | 6,739 |
| | うち光熱水費 | 3,102 | 3,299 | 3,233 | 2,476 | 4,840 |
| | 維持補修費 | 12,260 | 2,836 | 1,685 | 126 | 455 |
| | 補助費等 | 201 | 364 | 187 | 277 | 324 |
| | 減価償却費 | 10,096 | 8,032 | 9,236 | 14,428 | 24,713 |
| | 賞与・退職手当引当金繰入額 | 6,967 | 2,039 | 3,314 | 6,059 | 6,205 |
| 行政費用合計 | 80,837 | 65,404 | 63,999 | 73,719 | 98,281 | |
| 単位あたりコスト分析 | 延床面積(m ²) | 1,339 | 1,601 | 1,179 | 1,564 | 1,974 |
| | 1m ² あたりコスト(円) | 60,371 | 40,852 | 54,282 | 47,135 | 49,788 |
| | 利用総人数(人) | 52,703 | 66,665 | 54,115 | 80,387 | 142,424 |
| | 利用者1人あたりコスト(円) | 1,534 | 981 | 1,183 | 917 | 690 |
| | 開館日数(日) | 292 | 292 | 292 | 292 | 293 |
| | 開館1日あたりコスト(円) | 276,839 | 223,986 | 219,175 | 252,462 | 335,430 |

2 施設配置図



3 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



4 分析欄

①人件費の特徴について

・職員については施設規模、利用者数に応じた配置をしています。

②単位あたりコストの特徴について

・築年数が経った施設ほど、維持補修費がかかるため、単位あたりのコストが上昇する傾向があります。

・「3 効率性・経済性を軸とした分析グラフ」から、子どもセンターばあんが他のセンターの平均を上回っているのは、7月の空調故障により維持補修費が増加したことや、修理期間中の利用者数が減少したことが大きな要因と考えられます。

③利用者数の特徴について

・建設年月日が新しく、延床面積が広いほど利用者数が多い傾向があります。最も新しく、広い子どもセンターまあちは、中心市街地にあり、町田駅からのアクセスも良いことから、利用者数は増加傾向にあります。

・総利用者に対する中高生の割合は、子どもセンターただONが31.5%と最も高い結果となりました。センターから半径1km以内にある中学、高校の数が5校と多く、それに加えて、中高生が企画運営するプログラムを多く実施していることも一因になっています。

5 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

・開設から20年経過した子どもセンターばあんをはじめ、設備の老朽化が進み、その対応が大きな課題となっている施設がでてきています。設備の故障は、利用者に大きな影響があることから、計画的な修繕を行っていきます。

・子どもの数の減少とともに、子どもセンター利用者数も減少傾向にあります。引き続き、それぞれのセンターの立地や地域性を活かし、中高生を中心とした子どもたちが主体となる事業や、地域と子どもが交流できる事業に加えて、新たな「まちとも」への支援も含めた出張事業を行い、利用者数の維持に努めます。また、来館者にとって安全かつ快適な施設となるよう、子ども委員会や利用者が施設の利用方法について考えられるような場の検討などを行い、利用者の満足につなげていきます。

・子どもセンターに求められるニーズや役割を把握するために実施した地域団体向けアンケートの調査結果から、地域活動の担い手の育成支援や、地域イベントへの協力を求められていることがわかりました。今後、地域の行事などに出向き、地域連携を進めるとともに、子どもたちと一緒に地域のイベント等に参加することで、子どもと地域の繋がりを広げていきます。

同種施設比較分析表(図書館)

1 各施設の情報

| | 中央 | さるびあ | 鶴川※1 | 金森※1 | 忠生※2※3 | 木曾山崎 | 堺※2 | 鶴川駅前※2 | |
|------------|---------------------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|
| 基本情報 | 該当ページ | 152 | 154 | 156 | 158 | 160 | 162 | 164 | 166 |
| | 建設年月日 | 1990年4月16日 | 1972年5月22日 | 1972年2月15日 | 2000年7月4日 | 2015年2月27日 | 1976年3月25日 | 1983年9月25日 | 2012年8月31日 |
| | 有形固定資産減価償却率 | 54.4% | 81.2% | - | - | - | 51.5% | - | - |
| 行政費用(千円) | 人件費 | 362,140 | 103,616 | 37,599 | 69,317 | 65,534 | 47,747 | 55,432 | 70,128 |
| | 物件費 | 92,121 | 26,406 | 15,188 | 34,161 | 37,117 | 15,719 | 15,819 | 47,884 |
| | うち委託料 | 10,649 | 6,508 | 1,726 | 6,801 | 11,831 | 2,103 | 3,033 | 21,929 |
| | うち光熱水費 | 15,265 | 3,723 | 1,158 | 3,448 | 1,504 | 1,435 | 808 | 2,432 |
| | 維持補修費 | 50,736 | 2,955 | 35 | 1,027 | 0 | 381 | 172 | 567 |
| | 補助費等 | 52,917 | 19 | 162 | 7 | 9 | 7 | 10 | 10 |
| | 減価償却費 | 33,186 | 2,067 | | | 25,599 | 3,177 | 6,176 | 19,485 |
| | 賞与・退職手当引当金繰入額 | 39,908 | 8,686 | 1,428 | 1,610 | 2,061 | 3,524 | 12,098 | 3,838 |
| 行政費用合計 | 631,008 | 143,749 | 54,412 | 106,122 | 130,320 | 70,555 | 89,707 | 141,912 | |
| 単位あたりコスト分析 | 延床面積(m ²) | 5,968 | 1,260 | 260 | 1,500 | 1,266 | 321 | 430 | 1,344 |
| | 1m ² あたりコスト(円) | 105,732 | 114,087 | 209,277 | 70,748 | 102,938 | 219,798 | 208,621 | 105,590 |
| | 貸出者数(人) | 390,041 | 96,010 | 59,202 | 182,963 | 122,024 | 69,865 | 38,397 | 170,687 |
| | 貸出者1人あたりコスト(円) | 1,618 | 1,497 | 919 | 580 | 1,068 | 1,010 | 2,336 | 831 |
| | 開館日数(日) | 303 | 300 | 301 | 300 | 300 | 301 | 301 | 300 |
| | 開館1日あたりコスト(円) | 2,082,535 | 479,163 | 180,771 | 353,740 | 434,400 | 234,402 | 298,030 | 473,041 |
| | 貸出点数(点) | 1,069,808 | 359,704 | 186,874 | 668,881 | 517,858 | 222,670 | 175,079 | 519,784 |
| | 貸出1点あたりコスト(円) | 590 | 400 | 291 | 159 | 252 | 317 | 512 | 273 |

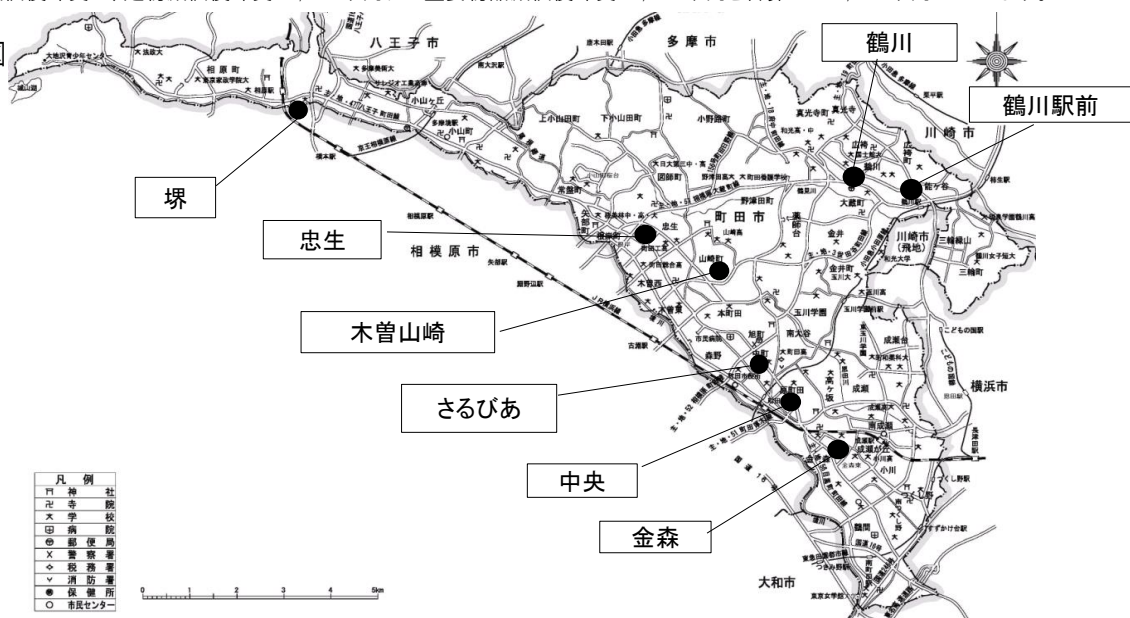
※1 URから有償で借りて運営している鶴川、東京都から無償で借りている金森については、減価償却費を計上していません。

※2 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。有形固定資産減価償却率を空欄にしています。

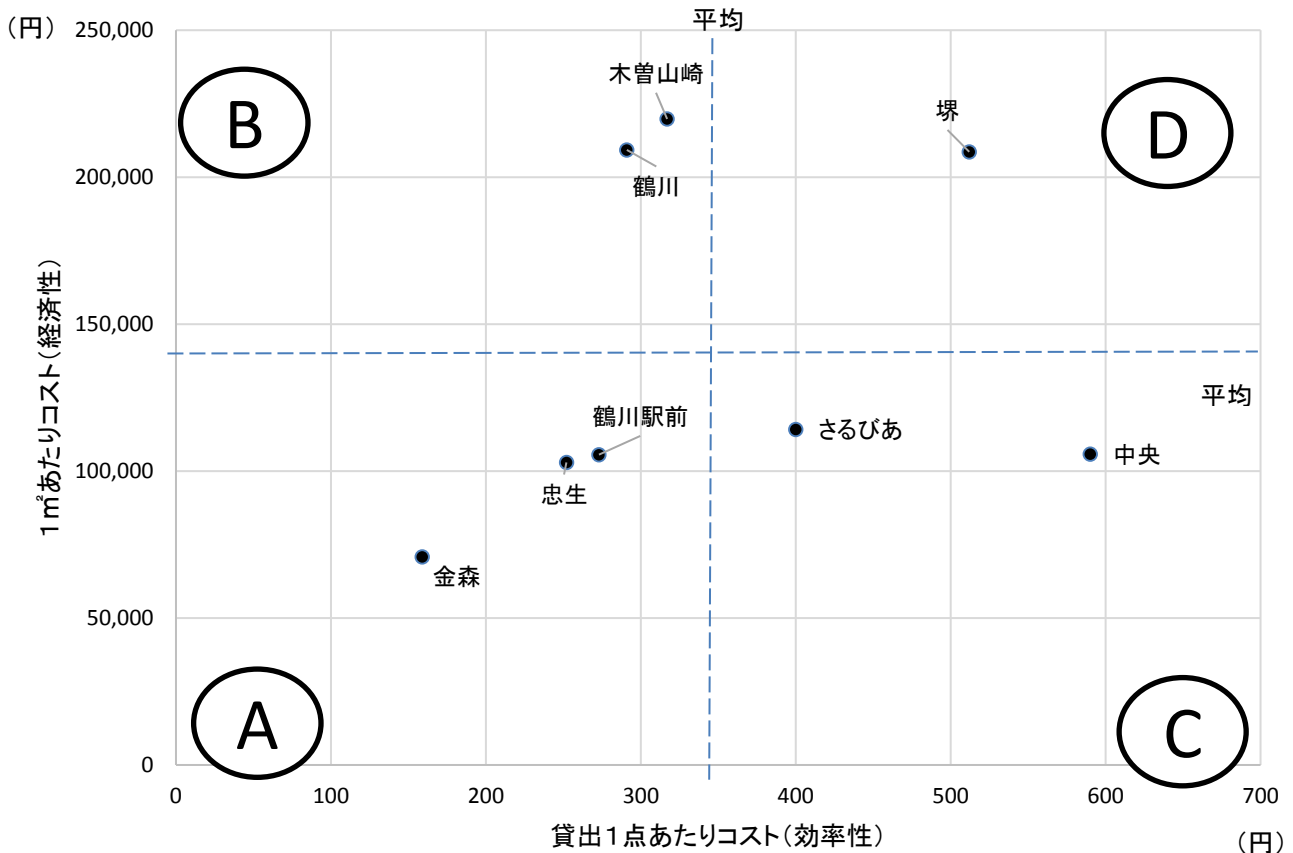
| | 忠生 | 堺 | 鶴川駅前 |
|---------------------------|--------|--------|--------|
| 減価償却費(千円) | 53,808 | 41,125 | 86,684 |
| 複合施設全体面積(m ²) | 4,687 | 2,863 | 5,979 |
| 図書館面積(m ²) | 1,266 | 430 | 1,344 |
| 按分減価償却費(千円) | 14,534 | 6,176 | 19,485 |

※3 忠生図書館の減価償却費は、建物減価償却費14,534千円及び重要物品減価償却費11,065千円を合算して25,599千円としています。

2 施設配置図



3 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



4 分析欄

- ①人件費の特徴について
 - ・中央図書館、中規模館(さるびあ・金森・忠生・鶴川駅前)、小規模館(鶴川・木曾山崎・堀)の3グループで、それぞれ人員配置が異なるため、規模に応じた人件費を支出しています。中央図書館は他の図書館のバックアップに加え、レファレンス(参考調査)、視覚障がいのある方への対面朗読や録音図書資料、来館困難者への宅配サービス、視聴覚資料等の独自サービスを行っているため、人員を最も多く配置しています。さるびあ図書館と堀図書館は移動図書館を運営しているため、他の同規模館より人員を多く配置しています。
- ②施設規模の特徴について
 - ・施設運営に最低限必要な人員を配置しているため、小規模館は、1㎡あたりコストが中央図書館や中規模館よりも相対的に高くなっています(B、D区分)。
- ③貸出点数の特徴について
 - ・中央図書館に次ぐ貸出点数がある金森図書館が、貸出1点あたりコストが最も低くなっています。
 - ・移動図書館を運営している、さるびあ図書館と堀図書館は、他の同規模館より貸出1点あたりコストが高くなっています。
- ④効率性・経済性を軸にした分析グラフについて
 - ・効率性・経済性ともに、移動図書館を運営しない中規模館が、中央図書館や小規模館、移動図書館を運営する館よりも相対的に良好な結果(A区分)となっています。

5 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

- ・「町田市立図書館のあり方見直し方針」を踏まえて、サービスの見直し、図書館資源の再配分、運営体制の確立のためのアクションプランを決定します。
- ・アクションプランの決定にあたっては、立地や規模など各館の特性に応じたサービス、運営体制を検討します。また移動図書館を運営するさるびあ図書館と堀図書館については、計3台の移動図書館の巡回運行の見直しを行い、利用促進を図ります。

同種施設比較分析表(市民センター)

1 各施設の情報

| | 忠生 ^{※1※2} | 鶴川 ^{※1} | 南 | なるせ駅前 | 堺 ^{※1} | 小山 | |
|------------|---------------------------|------------------|-------------|-----------|-----------------|-----------|------------|
| 基本情報 | 該当ページ | 352 | 354 | 358 | 362 | 366 | |
| | 建設年月日 | 2015年2月27日 | 1985年10月15日 | 1987年2月2日 | 1996年3月19日 | 1983年3月1日 | 1995年1月25日 |
| | 有形固定資産減価償却率 | 16.0% | 41.9% | 61.0% | 44.4% | 53.1% | 46.8% |
| 行政費用(千円) | 人件費 | 84,947 | 118,825 | 69,291 | 82,199 | 63,236 | 62,687 |
| | 物件費 | 34,258 | 20,375 | 21,150 | 19,450 | 18,779 | 21,767 |
| | うち委託料 | 27,354 | 15,399 | 13,933 | 12,478 | 13,179 | 13,057 |
| | うち光熱水費 | 4,309 | 3,427 | 5,351 | 5,411 | 3,689 | 7,236 |
| | 維持補修費 | 1,980 | 266 | 3,144 | 674 | 685 | 3,622 |
| | 補助費等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 減価償却費 | 35,454 | 28,362 | 13,440 | 18,216 | 29,792 | 33,775 |
| | 賞与・退職手当引当金繰入額 | 17,004 | 14,114 | 7,613 | 3,708 | 8,829 | 2,699 |
| 行政費用合計 | 173,643 | 181,942 | 114,638 | 124,247 | 121,321 | 124,550 | |
| 単位あたりコスト分析 | 延床面積(m ²) | 3,056 | 2,087 | 2,117 | 2,077 | 2,074 | 2,705 |
| | 1m ² あたりコスト(円) | 56,820 | 87,179 | 54,151 | 59,820 | 58,496 | 46,044 |
| | 取扱総件数(件) ^{※3} | 55,253 | 87,748 | 58,552 | 79,272 | 35,198 | 47,745 |
| | 取扱件数1件あたりコスト(円) | 1,989 | 1,500 | 1,251 | 1,104 | 2,196 | 1,234 |
| | 利用総人数(人) ^{※4} | 75,437 | 67,800 | 58,560 | 58,080 | 45,358 | 54,165 |
| | 利用者1人あたりコスト(円) | 844 | 742 | 707 | 632 | 971 | 1,212 |
| | 開館日数(日) | 359 | 357 | 357 | 357 | 357 | 359 |
| | 開館1日あたりコスト(円) | 483,684 | 509,640 | 321,115 | 348,031 | 339,834 | 346,936 |

※1 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

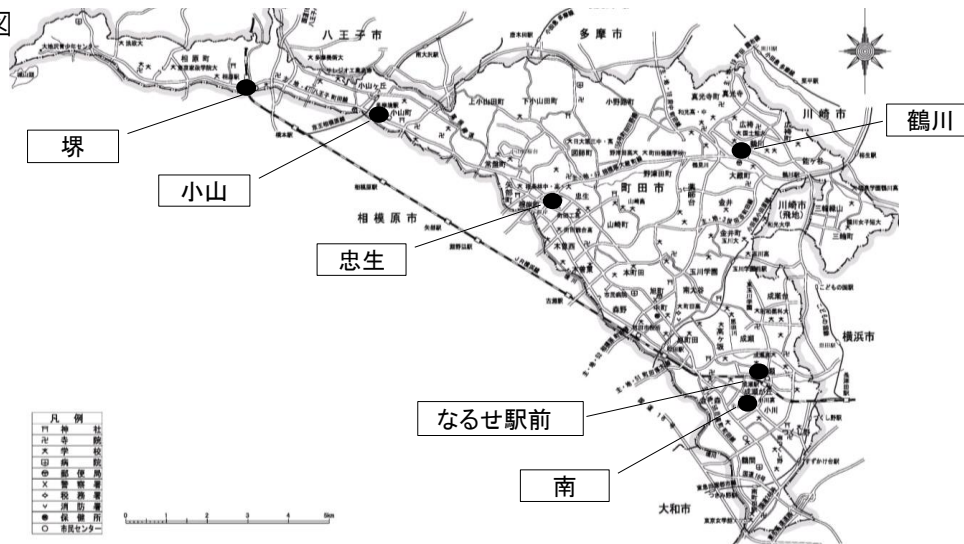
| | 忠生 | 鶴川 | 堺 |
|---------------------------|--------|--------|--------|
| 建物減価償却費(千円) | 53,808 | 35,469 | 41,125 |
| 複合施設全体面積(m ²) | 4,687 | 2,610 | 2,863 |
| 市民センター面積(m ²) | 3,056 | 2,087 | 2,074 |
| 按分減価償却費(千円) | 35,084 | 28,362 | 29,792 |

※2 忠生の減価償却費は、建物減価償却費35,084千円及び重要物品減価償却費370千円を合算して35,454千円としています。

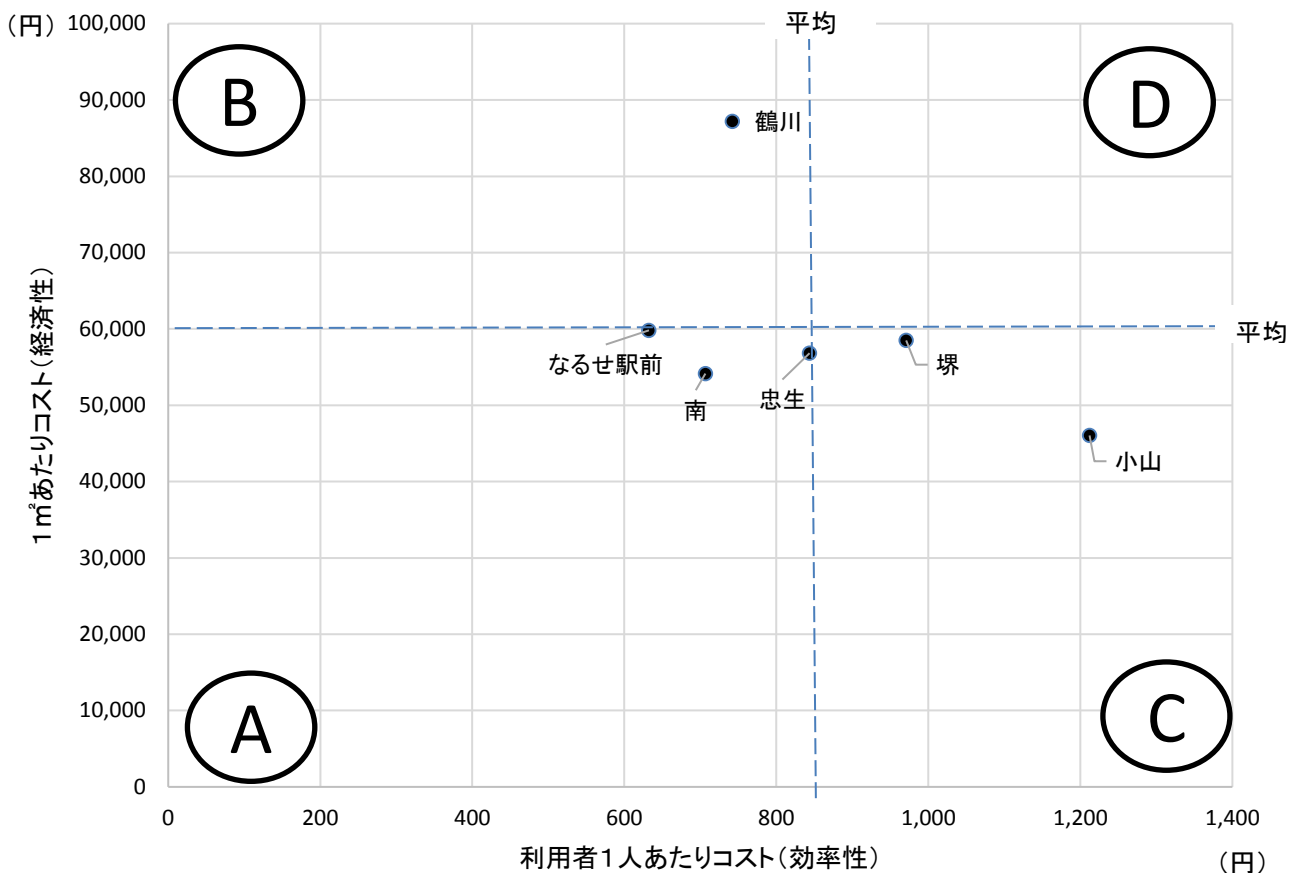
※3 証明書交付、各種申請受付等の行政窓口取扱件数

※4 ホール・会議室等の施設利用人数

2 施設配置図



3 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



4 分析欄

①人件費の特徴について

・全体の特徴:各市民センターの業務量に応じた人員を配置をしていますが、取扱件数1件あたりコストや利用者1人あたりコストに差が生じています。これは、施設の実態による維持管理経費の違いの他、窓口を維持するために必要な最低限の人員数を定め、それを下回らないように窓口業務の人員を配置していること等が挙げられます。

②施設規模の特徴について

・全体の特徴:建替えや改修等により省エネルギー機器を導入した忠生、鶴川、塚は他施設と比べて延床面積に対する光熱水費の割合が低くなっています。南は大規模改修が行われたことがなく有形固定資産減価償却率が61.0%と突出して高くなっています。構造上、空調効率が悪いため、他施設と比べて光熱水費や維持補修費が高くなっています。

③行政窓口取扱件数、施設利用者数の特徴について

・全体の特徴:マイナンバー制度の普及やコンビニ交付の増加等に伴い、行政窓口取扱件数のうち証明書発行件数が2017年度と比べて減少しています。一方で、各種問い合わせや証明発行以外の行政窓口取扱件数は増加しています。すべての施設において、夜間の貸出施設利用率が午前・午後の施設利用率に比べて低くなっています。また和室等、特定の室場の施設利用率が低いこと等が施設全体の利用率を下げる要因となっています。

・Aの特徴:なるせ駅前には成瀬駅から徒歩2分という利便性から、施設規模に対して行政窓口取扱件数、施設利用総人数が多く、取扱件数1件あたりコスト、利用者1人あたりコストが最も低くなっています。

5 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

・施設利用率の向上を図るため、施設ごとに利用者の属性、利用時間帯などの傾向を分析し、利用率が低くなっている原因を追究するとともに、原因に合わせた改善の取り組みを行います。

・マイナンバー制度の普及やコンビニ交付の増加等に伴い、行政窓口取扱件数のうち証明書発行件数が2017年度と比べて減少しています。一方で、各種問い合わせや証明発行以外の行政窓口取扱件数は増加しています。このような市民ニーズや環境の変化に伴い、今後施設が担うべき機能やサービス提供のあり方等について、将来的な需要を視野に入れ検討します。

同種施設比較分析表(コミュニティセンター)

1 各施設の情報

| | | 成瀬 | 木曽森野※1 | 三輪※2※3 | つくし野 |
|------------|---------------------------|---------------------------|--------|------------|-----------|
| 基本情報 | 該当ページ | 330 | 332 | 334 | 336 |
| | 建設年月日 | 1987年12月16日 2016年5月20日 | - | 2002年3月28日 | 1982年8月1日 |
| | 有形固定資産減価償却率 | 26.0% | - | 35.3% | 49.4% |
| 行政費用(千円) | 人件費 | 8,656 | 4,425 | 5,689 | 4,425 |
| | 物件費 | 21,695 | 13,213 | 14,136 | 13,667 |
| | うち委託料 | 15,893 | 9,350 | 10,284 | 9,180 |
| | うち光熱水費 | 5,119 | 3,295 | 3,070 | 3,832 |
| | 維持補修費 | 22 | 415 | 983 | 2,003 |
| | 補助費等 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 減価償却費 | 72,241 | | 4,948 | 9,687 |
| | 賞与・退職手当引当金繰入額 | 99 | 125 | 88 | 125 |
| 行政費用合計 | 102,713 | 18,178 | 25,844 | 29,907 | |
| 単位あたりコスト分析 | 延床面積(m ²) | 1,850 | 1,000 | 1,190 | 1,003 |
| | 1m ² あたりコスト(円) | 55,521 | 18,178 | 21,718 | 29,818 |
| | 利用総人数(人) | 64,195 | 35,493 | 32,079 | 51,122 |
| | 利用者1人あたりコスト(円) | 1,600 | 512 | 806 | 585 |
| | 開館日数(日) | 347 | 347 | 347 | 347 |
| | 開館1日あたりコスト(円) | 296,003 | 52,386 | 74,478 | 86,187 |

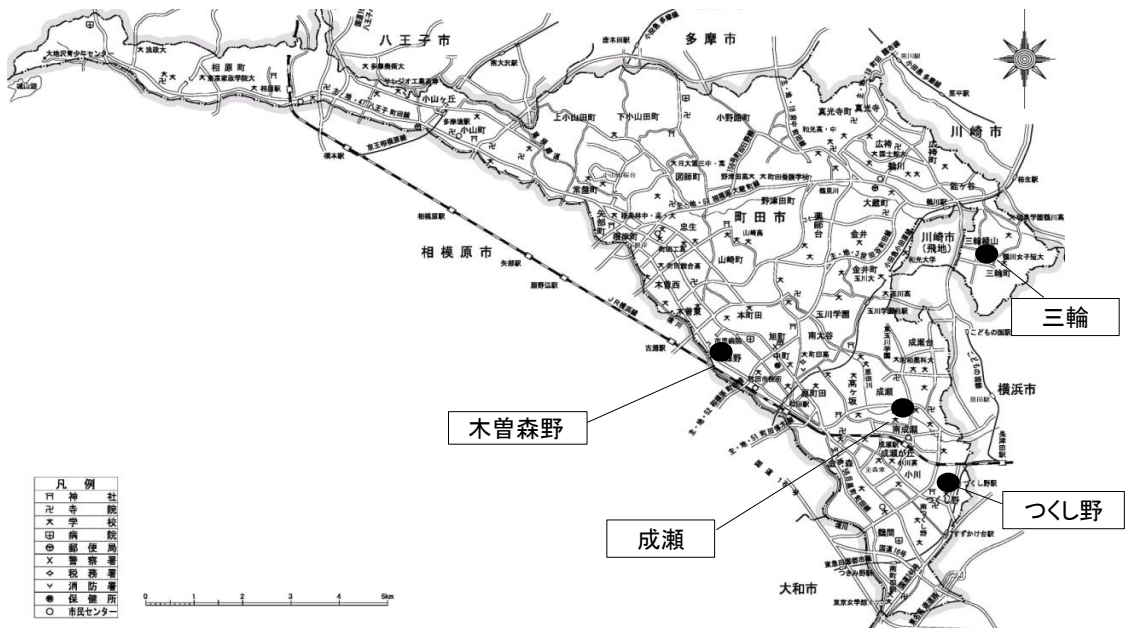
※1 東京都から無償で借りて運営している木曽森野については、減価償却費を計上していません。

※2 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

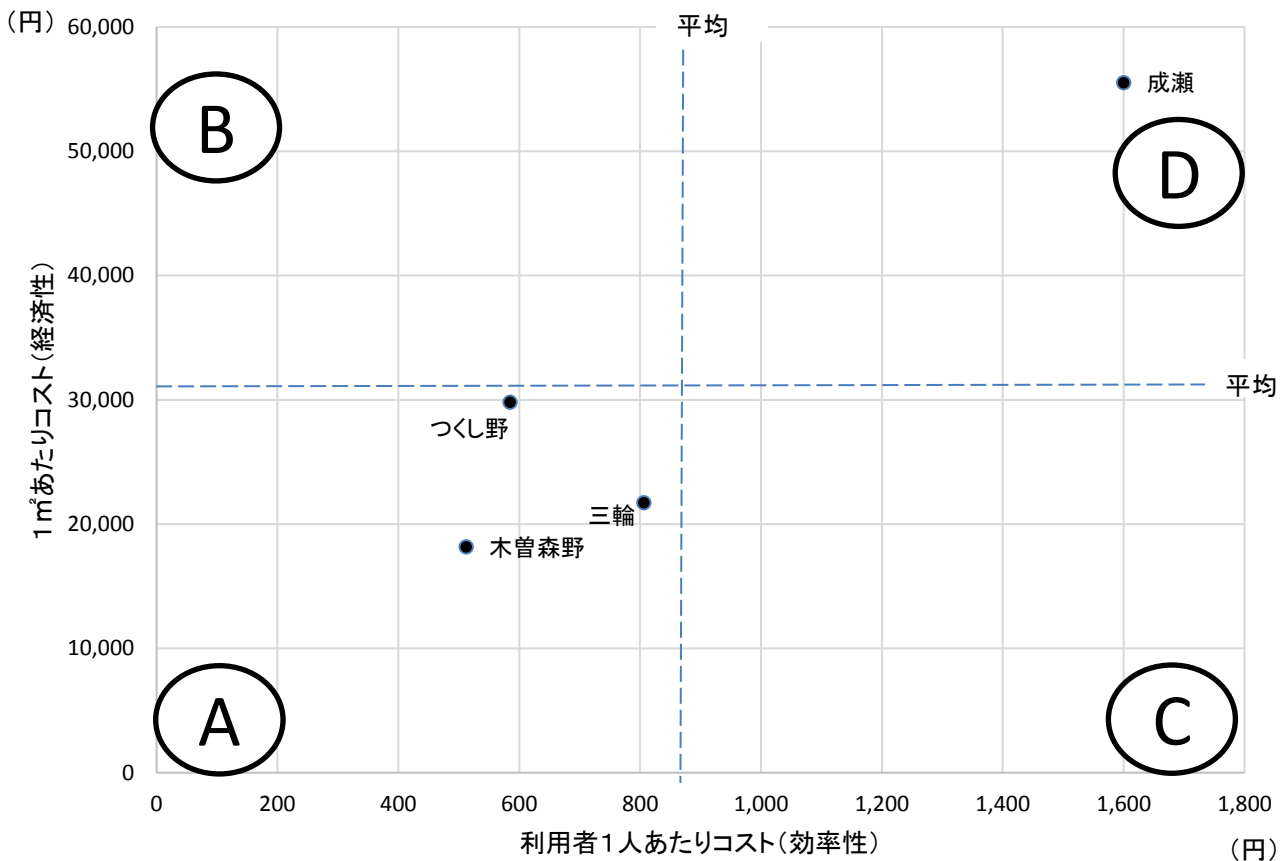
| | 三輪 |
|-------------------------------|-------|
| 建物・工作物減価償却費(千円) | 6,191 |
| 複合施設全体面積(m ²) | 1,488 |
| コミュニティセンター面積(m ²) | 1,190 |
| 按分減価償却費(千円) | 4,948 |

※3 複合施設である三輪の物件費(光熱水費)については実績値に基づく調整をしているため、事業別行政評価シートとは金額が異なります。

2 施設配置図



3 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



4 分析欄

- ①人件費の特徴について
 ・全体の特徴: 成瀬及び三輪は職員の任用制度の違いにより木曾森野及びつくし野に比べ人件費が高くなっています。
- ②施設規模の特徴について
 ・全体の特徴: 各施設で室場数、室場の広さ、設備等が異なっています。室場数が少ない木曾森野及びつくし野は全5室場、室場数が多い成瀬は全9室場あり、室場の広さはそれぞれ30㎡～200㎡程度となっています。
 ・Dの特徴: 成瀬は、他施設に比べ室場数や駐車場等が充実しています。また、他施設にはない美術工芸室やグラウンドも有しており、図書の貸出も行っています。その分、施設の維持管理経費等の行政費用が他施設よりも多いことから、単位あたりコストが高くなっています。
- ③施設利用者数の特徴について
 ・全体の特徴: 施設規模や立地条件等によって、施設利用者数に差が生じています。
 ・Dの特徴: 成瀬の利用総人数が多いのは、他施設に比べ、部屋数や駐車場等が充実しているためと考えられます。

5 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

・各施設において、夜間の施設利用率が午前・午後の施設利用率に比べて20%以上低くなっています。また和室等、特定の室場の施設利用率が低いこと等が施設全体の利用率を下げる要因となっています。今後、夜間の施設利用に関して、アンケート調査などにより市民のニーズの把握に努めていきます。

同種施設比較分析表(連絡所)

1 各施設の情報

| | 町田駅前 ^{※1} | 木曽山崎 ^{※2} | 玉川学園駅前 | 鶴川駅前 ^{※2} | 南町田駅前 ^{※1} | |
|------------|---------------------------|--------------------|------------|--------------------|---------------------|-----------|
| 基本情報 | 該当ページ | 346 | 348 | 350 | 356 | 360 |
| | 建設年月日 | 1998年4月7日 | 1982年8月17日 | 1974年5月1日 | 2012年9月29日 | 2017年3月1日 |
| | 有形固定資産減価償却率 | - | 62.0% | 62.6% | - | - |
| 行政費用(千円) | 人件費 | 43,356 | 32,207 | 25,616 | 37,289 | 29,718 |
| | 物件費 | 17,514 | 21,427 | 15,159 | 1,335 | 12,268 |
| | うち委託料 | 29 | 12,995 | 8,849 | 926 | 1,448 |
| | うち光熱水費 | 570 | 6,853 | 1,902 | 187 | 1,143 |
| | 維持補修費 | 0 | 6,301 | 23 | 0 | 0 |
| | 補助費等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 減価償却費 | | 11,944 | 4,657 | 971 | |
| | 賞与・退職手当引当金繰入額 | 9,372 | 2,993 | 6,820 | 11,597 | 2,378 |
| | 行政費用合計 | 70,242 | 74,872 | 52,275 | 51,192 | 44,364 |
| 単位あたりコスト分析 | 延床面積(m ²) | 109 | 1,611 | 595 | 67 | 121 |
| | 1m ² あたりコスト(円) | 644,422 | 46,476 | 87,857 | 764,065 | 366,645 |
| | 取扱総件数(件) ^{※3} | 72,802 | 19,155 | 20,823 | 37,282 | 39,065 |
| | 取扱件数1件あたりコスト(円) | 965 | 1,855 | 1,324 | 1,373 | 1,136 |
| | 利用総人数(人) ^{※4} | - | 55,453 | 29,915 | - | - |
| | 利用者1人あたりコスト(円) | - | 710 | 826 | - | - |
| | 開館日数(日) | 341 | 356 | 330 | 321 | 341 |
| | 開館1日あたりコスト(円) | 205,988 | 210,316 | 158,409 | 159,478 | 130,100 |

※1 町田駅前、南町田駅前連絡所は、賃貸建物のため減価償却費を計上していません。

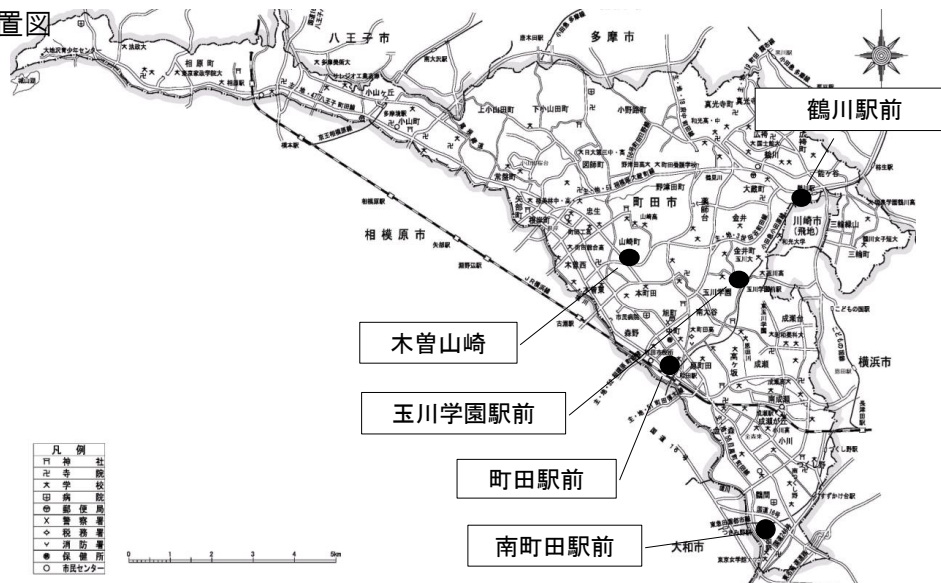
※2 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

| | 木曽山崎 | 鶴川駅前 |
|---------------------------|--------|--------|
| 建物減価償却費(千円) | 15,607 | 86,684 |
| 複合施設全体面積(m ²) | 2,105 | 5,979 |
| 連絡所面積(m ²) | 1,611 | 67 |
| 按分減価償却費(千円) | 11,944 | 971 |

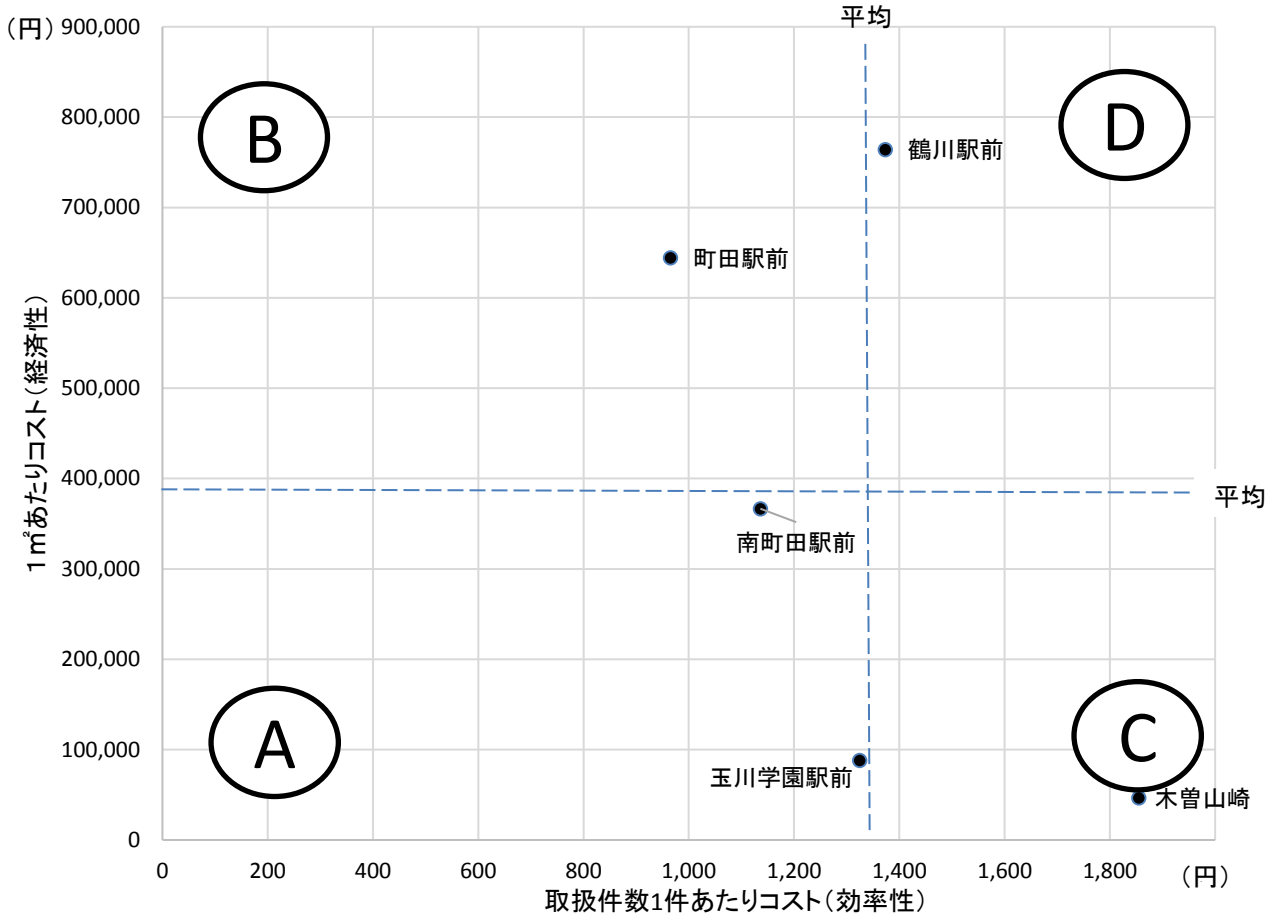
※3 証明書交付、各種申請受付等の行政窓口取扱件数

※4 ホール・会議室等の施設利用人数

2 施設配置図



3 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



4 分析欄

- ①人件費の特徴について
- ・全体の特徴: 町田駅前、鶴川駅前、南町田駅前は平日夜間・土日も開所しているため、配置されている人員が他の連絡所より多くなっています。
 - ・Bの特徴: 町田駅前は市内で最も乗降者数が多い町田駅前という利便性の高い立地のため、取扱件数が最も多く、それに対応する人員を配置しているため、人件費が高くなっています。
- ②施設規模の特徴について
- ・全体の特徴: 木曾山崎及び玉川学園駅前は行政窓口業務のほかに施設貸出業務も行っていることから、他の連絡所と比べて施設規模が大きく、1㎡あたりコストが低くなっています。
- ③行政窓口取扱件数、施設利用者数の特徴について
- ・全体の特徴: マイナンバー制度の普及やコンビニ交付の増加等に伴い、行政窓口取扱件数のうち証明書発行件数が2017年度と比べて減少しています。一方で、各種問い合わせや証明書発行以外の行政窓口取扱件数は増加しています。町田駅前、鶴川駅前、南町田駅前は駅前という利便性の高い立地であり、平日夜間・土日も開所しているため、他の連絡所より行政窓口取扱件数が多くなっています。
 - ・Aの特徴: 玉川学園駅前は玉川学園コミュニティセンター建替えに伴い、2019年2月に近隣の仮設事務所に移転し、行政窓口業務のみ行っています。移転に伴い児童図書貸出を中止したことや、施設貸出については2018年12月末で貸出を中止したことにより、行政窓口取扱件数、施設利用者数ともに2017年度と比べて大きく減少しています。
 - ・Cの特徴: 木曾山崎は窓口での証明書交付件数が少ないことに加え、施設の老朽化による維持補修費や減価償却費、併設する「ふれあいくぬぎ館」の浴場営業に係る光熱費等が単位あたりコストに大きく影響しています。

5 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

- ・木曾山崎は施設利用率向上のため、施設の周知方法の検討や使用目的の見直しについて検討します。また、安全で安心して利用できる施設であるための適切な修繕等維持管理を行っていきます。
- ・玉川学園駅前は仮設事務所においては、施設規模が小さくなりましたが、室内を効率よく整理整頓するなど利便性を高め、利用者の増大を図るとともに、光熱水費などのコスト削減にも努めます。また、建替え後の新しい施設に関しては、施設利用率向上に繋がる利便性の高い備品の購入や各貸出部屋の適正な利用方法を検討するなど、より多くの方々に利用していただけるような快適な施設となるように整備していきます。
- ・マイナンバー制度の普及やコンビニ交付の増加等に伴い、行政窓口取扱件数のうち証明書発行件数が2017年度と比べて減少しています。一方で、各種問い合わせや証明書発行以外の行政窓口取扱件数は増加しています。このような市民ニーズや環境の変化に伴い、今後施設が担うべき機能やサービス提供のあり方等について、将来的な需要を視野に入れ検討します。

同種施設比較分析表(ふれあい館)

1 各施設の情報

| | | もみじ館 (金森) | いちよう館 (鶴川) | もっこく館 ^{※1} (町田) | くぬぎ館 ^{※1} (木曽山崎) | けやき館 ^{※1} (堺) | 桜館 ^{※2} (小山田) |
|------------|---------------------------------|--------------|---------------|-----------------------------|------------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 基本情報 | 該当ページ | 222 | 224 | 226 | 228 | 230 | 232 |
| | 建設年月日 | 1975年2月28日 | 1978年1月5日 | 1989年3月22日 | 1982年10月13日 | 1983年3月31日 | 1994年3月17日 |
| | 有形固定資産減価償却率 | 69.9% | 58.2% | - | - | - | 47.0% |
| 行政費用(千円) | 人件費 | 16,221 | 17,353 | 18,554 | 18,449 | 14,911 | 1,515 |
| | 物件費 | 8,019 | 10,115 | 7,435 | 7,435 | 3,309 | 33,507 |
| | うち委託料 | 4,409 | 5,432 | 4,172 | 4,009 | 2,176 | 33,176 |
| | うち光熱水費 | 2,495 | 3,388 | 2,703 | 2,093 | 679 | 0 |
| | 指定管理委託料 うち光熱水費 ^{※3} | | | | | | 5,714 |
| | 指定管理委託料 うち人件費 ^{※3} | | | | | | 16,882 |
| | 維持補修費 | 277 | 556 | 1,417 | 1,925 | 119 | 1,107 |
| | 補助費等 | 174 | 284 | 293 | 126 | 174 | 0 |
| | 減価償却費 | 2,422 | 4,838 | 4,494 | 3,659 | 5,162 | 15,068 |
| | 賞与・退職手当引当金繰入額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 162 |
| | 行政費用合計 | 27,113 | 33,146 | 32,193 | 31,594 | 23,675 | 51,359 |
| 単位あたりコスト分析 | 延床面積(m ²) | 581 | 720 | 826 | 493 | 359 | 1,074 |
| | 1m ² あたりコスト(円) | 46,666 | 46,036 | 38,975 | 64,085 | 65,947 | 47,820 |
| | 利用総人数(人) | 22,582 | 33,414 | 32,670 | 52,967 | 13,372 | 29,054 |
| | 利用者1人あたりコスト(円) | 1,201 | 992 | 985 | 596 | 1,770 | 1,768 |
| | 開館日数(日) | 295 | 295 | 292 | 292 | 292 | 295 |
| | 開館1日あたりコスト(円) | 91,908 | 112,359 | 110,250 | 108,199 | 81,079 | 174,098 |

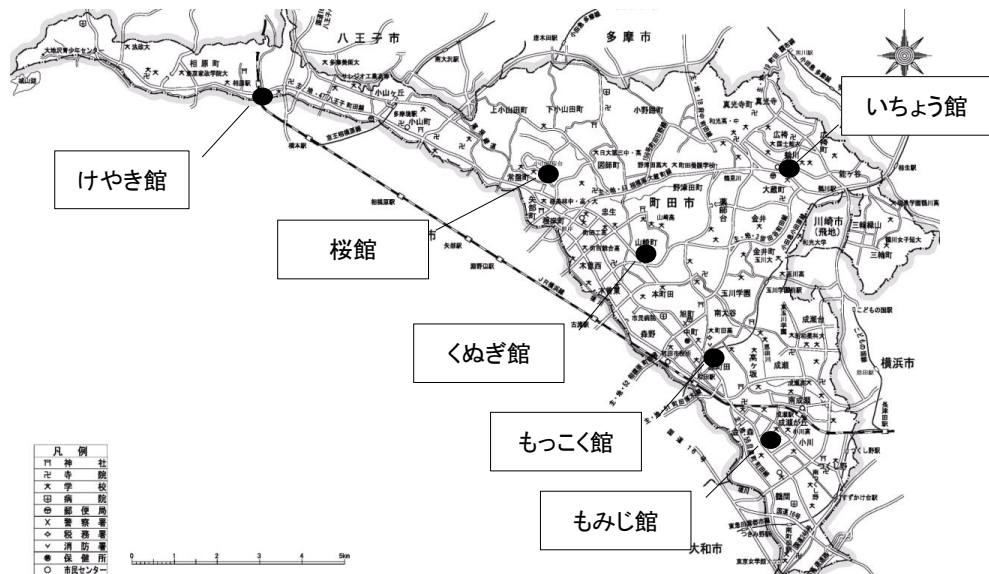
※1 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

| | もっこく館 | くぬぎ館 | けやき館 | 桜館 |
|---------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 建物減価償却費(千円) | 24,105 | 15,607 | 41,125 | 39,621 |
| 複合施設全体面積(m ²) | 4,429 | 2,105 | 2,863 | 2,824 |
| ふれあい館面積(m ²) | 826 | 493 | 359 | 1,074 |
| 按分減価償却費(千円) | 4,494 | 3,659 | 5,162 | 15,068 |

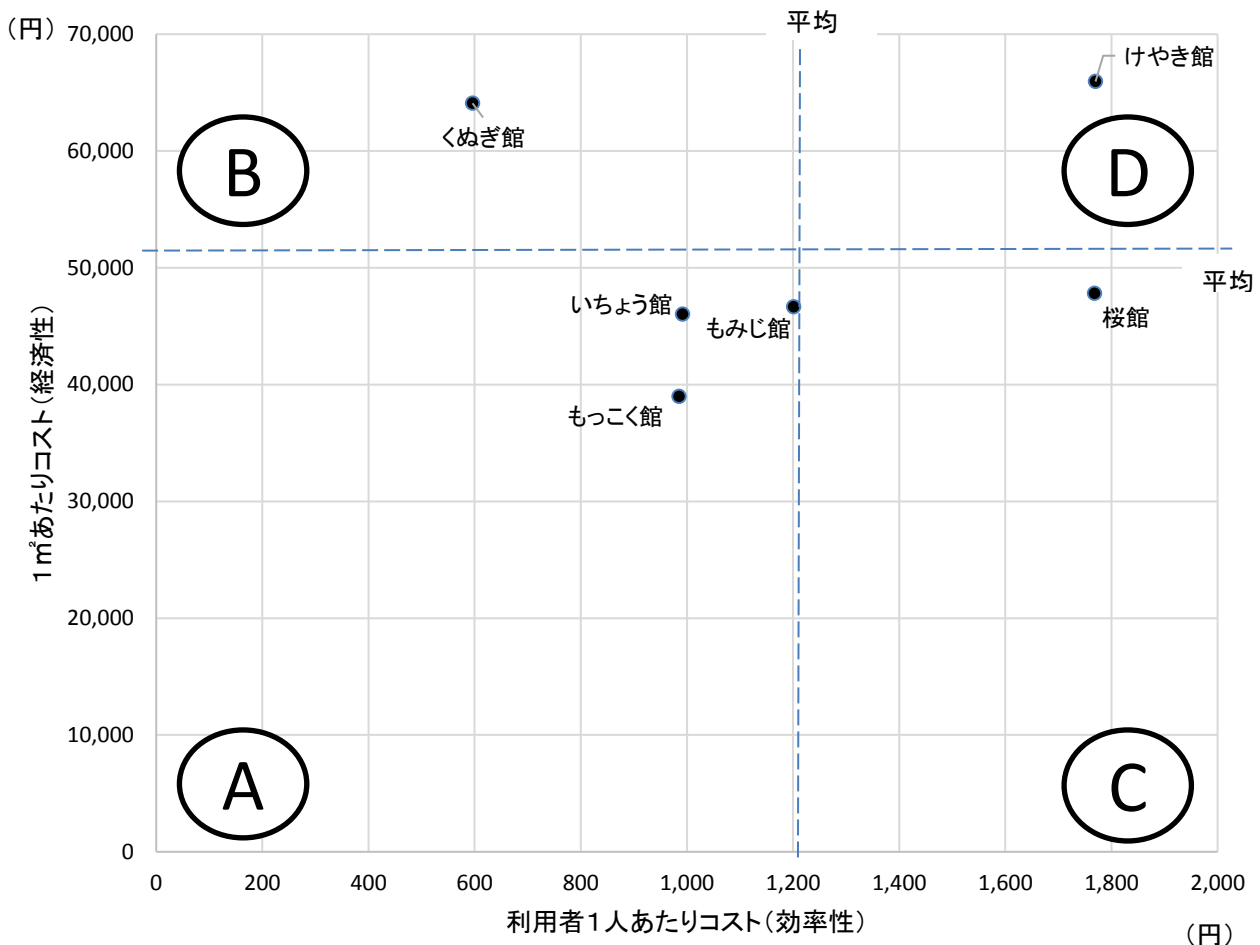
※2 桜館については、デイサービス(1F)等に係る減価償却費を面積按分で控除し、老人福祉センター(2F)分のみを算出しています。

※3 受託法人の決算資料から転記しています。

2 施設配置図



3 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



4 分析欄

①人件費の特徴について

・ふれあい館の行政費用のうち、最も多くの割合を占めているのは人件費です。
 ・6館のうち、桜館のみ指定管理者制度を導入しています。このため桜館は人件費が他の5館の平均の10分の1程度に抑えられています。桜館を除く5館の行政費用に対する人件費の割合の平均は、58.2%です。

②1㎡あたりのコストの特徴について

・1㎡あたりのコストの平均は51,588円です。
 ・Bの特徴: ふれあい館は6館とも同等の機能を有していますが、くぬぎ館は面積が狭いため、1㎡あたりコストが大きくなっています。
 ・Dの特徴: けやき館のある堺市民センターは2017年度に大規模改修を実施したため、面積に対して減価償却費が他館と比べて多くなっています。

③利用者1人あたりコストの特徴について

・利用者1人あたりコストの平均は1,219円です。
 ・C,Dの特徴: 桜館とけやき館は2017年度の大規模改修に伴う長期休館の後、利用者数の回復に至っていないため、利用者1人あたりコストが大きくなっています。

5 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

・行政経営改革プランに基づき、管理運営コストの削減を図るため、ふれあい館全体として、効果的、効率的な管理運営体制への見直しを検討します。(2019・2020年度)
 ・検討に当たっては、上記「3 効率性・経済性を軸にした分析グラフ」において、各館のグラフ上の位置をA区分に近づける視点が求められています。
 ・桜館、けやき館は、大規模改修に伴う長期休館の後、利用者数の回復に至っていません。利用者数の増加につながる取組が求められていると共に、施設の規模に見合った管理運営コストを検討する必要があります。
 ・くぬぎ館は施設規模に対し利用者数が多いことから、人件費、物件費共に他館と同水準の費用が必要となっています。
 ・上記「3 効率性・経済性を軸にした分析グラフ」における適正な平均値については、町田市内6館の平均だけでなく、近隣自治体の類似施設との比較も行った上で、検討していく必要があります。